

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふれあい学童 空		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者を最優先に考え、一人一人の状況や状態に応じた対応を臨機応変に行っている。	個々の保護者や、利用者本人に相談し、意見を聞いて対応しています。	相談や要望を言いやすい環境を更に作っていきたいと思います。
2	利用者が楽しいと思える環境づくりが出来ている。	学校やご家庭とは、また違った環境で、違った利用者や職員との触れ合いがあるので、様々な企画を計画しています。	保護者からの企画等も聞いていけたらと考えています。
3	看護職員が中心となり、感染症対策を徹底している。	感染症により重症化リスクが高い利用者も多いので、まん延防止の為に、通所ルールをしっかりと作成しています。	保護者にも更に周知していけるよう対応していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全てにおいて記録が必要になりますが、当日の記録作成ができていない事も多く、後日の作成になってしまっている。	会議中など、会話に集中してしまい、メモや議事録の情報が少なくなってしまうため、記録担当を毎回しっかり決めるようにしていきたい。	日常でのメモに慣れていくよう、職員への教育を行っていく。
2	強みだった企画が小規模になってしまっている。	以前はディズニーランドやピューロランドなど、大規模なお出掛け企画を行っていたが、感染症対策の観点から小規模になってしまっている。	看護職員と相談しながら検討していきたい。
3	事業所内にある物(訓練器具・遊具・本など)が多い為、ごちゃごちゃした印象になってしまっている。	保護者の方や関係者からの寄付が多く、とても有り難いがすべて受け入れてしまってる為、物が増えてしまっている。	定期的に必要なものと不必要な物を振り分け、整理していきたいと思います。